鮮米増産計畫成る

# 首相今や難局に直面

間の聴にはチェンベレン内間は東 り地牧の対象となり十六日面育時

創壯强的極穩

Viewra

特に学養不良の頭裂 をとした黒髪とする ので有名です ありは一味音水にも

劑主食

痒み止に 抜毛止に

フケ<u>止</u>に 充 た

然

一班入・四合統一五〇五一四合統

(乳明香進益)

**製食元 株式 林源 十郎** 网山市紙屋町 登鮮有名職店に販賣す

商

店

5.4 k 所发工原花

前本局(2)〇〇一八番 等

挺

皇(老) 斯克

**新設の準備を進む** 

## 飲食店を相手

大量二百四十五队

鐡道局の英断・十五日實施

流道協介」の誤に

歸還勇士二千名

限で置ひ扱いて量った第十選の助験的疑については 事變以來精動で斡旋

家庭用食卓用

包飲

全坑道密閉

訓練生時代の支給金



## (注尼語) 財政法人問經會理

にリン戸 整面品はりこ間な開家的ら前で連載 ちかすで質の血質も起らか化砂底動 いよばが除き因が、日頭をシシャリ

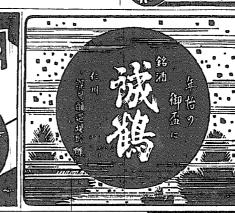


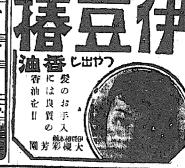
五日から受付

"说话" 選作傑樂音輕 -コレンケンフレテ本日

政治体権の登 兵曹長 の妻 母を見よ の花のない 59 机 作傑の代一生 一月霊人名つ持を聲のッ七 一寶鑛業時會社京城支店 目で必須建 图派送 **利限可及** 北京の夢







死した、原因は火縄の不給来から、一幅の土壌を嫌いて餓火したが、

一八四金茶配方から硬火

土幕の火事

英靈を慰む

してゐる
してゐる
してゐる
してゐる
してゐる
してゐる

別解祭町はは一里校本著著名、こと同事以上ノ州カラ万年等の研究の職員ニシテ京家関係ノ牧何員前の現存以下、省一定業間の保証、日本ののでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の

野瓜 藝浪曲

## (元 日) 日本の日本(元 日) 日本の日本(元 日) 日本(日本) (元 日) (元 日) (元 元 日) (名) 国 新田 1868 1869 国 新田 1868 大 景 魚 2 કુ | | | | | | 元 欨 一种(f) 網貨物不1190 加 1 a | | | | | | 4 Ē 東 賀 行 電神殿へ降片二下大ノ日末明門帆 デフィスカラ維展、確消方所は デオスカラ維展、確消方所は デオスカラ維展、確消方所は は代来る! 省多名

科(十月) 科(十月) 科(十月) 科(2) 大(2) 柏(2) 大(2) 大(2) 柏(2) 大(3) 大(2) 柏(2) 大(4) 柏(2) • 後 (例) 2000 期東小安海1140 2000 期東小安海1140 期社 期株米式 (革)群取引所取引員 店商民義田斯

界部則11377-异直線部計 第220 紫景 2170。

店商助之发井日

皅 囄

相況気

をはいるのでは、 のでは、 のでは、

阿部首相、愈よ近く最後

関目中に

の 一覧 では、 一覧 では、 一覧 に関心の壁域を取してゐるが、 一覧に関心の壁域を取してゐるが、 一覧 いて 一着は必死の関係職を行つて

抗爭益々 熾烈化

新中央政権樹立に開し

が満洲の冬季商

ルビ版大町幸小區町憩 社か日ンタモ ニオー五七 京東 替版

東(基) 物 間 X 強権の移動よう

我が掃蕩部

五大政綱完遂を强調 屬僚政治の弊に言及





劇生活十五年。其本 毒氣に當つた(鳩山「即)

子江航行權

巡り

巡り 吉水 富風髪り研究所

銳獨逸豆戰艦出動…大井英雄

皇紀二千六百年を迎かし荒木貞夫 前音下照照 高竹新樓波 田井村田 町 衛 内 明 井 田 夕 海 朝 賢 田 起 油 加 季 勇 南 応 夢 三 逸 並 温 加 華 勇 南 応 夢 三 逸 並 温 加

ニント集

ドイツの戦力

gmドイツは果して戦ふ

**7** 

を開発

人件賢 二三、一九七小件科統則與 七六、一六十

配合肥料の

本所四代最では小作物物師全質品を表する郷質を第二種面金支出にままする郷質を第二種面金支出に即りません。

作料の統制合

上共に、開発語の回義、建設、

本府の施行方針決る

で一段の指導を捕ぶやう通牒を設する。

名を増員

即るため本府は大阪省所全部野道中小河川改修工事 数の百様(構成)を **對預金部引受中小河川改修** 物質昻騰の 京城商議調査に見る

先づ七萬餘圓容認

北てある、四も小殿前十1年六月 れてある、四も小殿前をみると次の娘くなってある(昭和八年平均100)

米穀移動狀況十一月中の

古中一月 田・公 平大月 には大田) (福政) (福政田)

開始してより低くこ

減し去り、しかも自己の損害はののうちに七十萬の個際と願道を

年後に称くを順復せればなら それの選注すべき効果はなほ に関うべき効果はなほ 版次程達しついるることは非版次程達しついるので、 とする一方、民間防火組織が 上する一方、民間防火組織が 合成成江 平平页 閱题

三、大四二石 欧洲を繋続したものである

四〇〇、網方組

【東京電腦】 大陸省融票 對外貿易 本年度の 藏省發表

踊子の妹

夕刊後の市況

組合に勝通されるととなるもので

四〇弘中面工人 1四三龍・山上位

工事 入れメデ



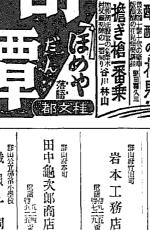
事、特命、深非正吉、期日一月九阳近被尉《路破利郑珥探址工 

野様は勿論、日用品の耐災すらで









群型的 群山公立領常小學校 職 職山 月 見話が上記が

ij

工模

渥

美

萷 會

水

麗 645 八章

那山荒木町二丁目

美

東舘

「京都」…京都市四二元の科学やでも強くはない

九十七、人口十九四三十五百、

明治屋自轉車店 日鮮燐寸或質社

岡村語 村福馬

伊藤松郎

德永信一商店 問題

高千代吉

日

将軍陸栗毛|落小倉百人|皆

保険つきの結婚



1三十一五五石

Д

戶

**建山府本町** 

ク穀物協館

昭逝二三番

場

計画が明治的十丁日

藤寫員館

群山料理屋組合

職盟

Ц

[n]

文品

釽

橋詰止太郎

都山村于代田町 Œ

医插一〇五四番

猫眼の男 長と上産

株式會社群山農機工業

大澤重憲

湖南農以遊館社

津 毛 製 材 。 隨 所

朝 鮮 木 部

Щ 水 電話 | 01:0首

男

林雜商店事業所

**著度 新型版** 

群山土

山出張 所 組

期山河 曾 前 口 吉鷹廣吉商店 原 牛尾

聖二

群

山醫師

女は強いるの

る。哥の大阪道町畑夜話、五十三女の一生が賭けられてゐ。五十三姓が開ける知別には、第

ĦĠ 元 渡 遪 厄湖一四六番 仙 嵗 全義 鎔

質 德原子之吉 取締役 群山 生 全義 鎔 探式預社

新町貸座敷業組合

奉天ハム南會

論山音產株式會社

諸 獺 A -6 45

寳

格屋佐多枝 格屋佐多枝

も別へは昨冬十二月一日のこれは京城だけについて見

九七件・提供網四百十九萬二三年度全館火災性数は三四数字はおだ人手出来ない

十四年の火災に関する全

であるといふ歌を称へ合はせであるといふ歌を称へ合はせ

歴史の過郷、取灰、鰡草の取用り、温英の炭火、切磨及び ほり、職実の紫火、切撃及びで、1、11部一分が脱火になって

役に於ても火災増加の行力な

部に即すれば火衆は両々人の 有の報音を続けてゐるが、型 音等は不顧のは歴節膜に描

へられるのは先づ時間の蛇と

智種透明数は四十萬二百二十三

局鐵出貨依然好調

說 社

細心の注意、最高の努力を要望

日前以外にはないにも捕らず

あるかを殴られものは小児と

火災と大衆生活

既は西三年来既分類がの 八百七十九四に躍し、火

工場方面に多いといることは 然し地面5年の火災被害が

注意を掘った過とが大衆生活に於て個々人が極めて何かな

に知れるのでももって現はれて来ることが明確して現はれて来ることが明確し

で、大部が他の部が近端というに、一門が手巻を辿ってある。 これに関う代用住と で、大部が他の部が近端と出交 で、東京をは、大部が他の部が近端と出交 で、東京をは、大部が他の部が近端と出交 で、東京を で、大部が他の部が近端という。 で、「中が手巻を辿ってある」と、「中が手巻を辿ってある。

頂金部融資

は凡七六、七十萬風を必要とする は凡七六、七十萬風を必要とする 解定であるが、右のうち凡七四千

四千萬圓程度

松の松を御師した

生へた概をお君は他では、莊十七年のは生めの時代の時代の時代の時代の時代を

職沃

岩本工務

員溝

同廳

群

店 職

那山公元斯斯為校 貝 闻

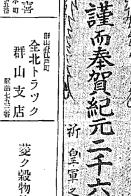
an De 石油卸商館

化時代 近面

京城營業で

所鮏

日同電氣然會前



下六百年之計春 弘治 治 松木族館

佐藤農

湖市市

**卞** 在

在

珪

理非

和

安邦

罪阿知

池寬

**朴**育

相

甏

桼

,洪

告々 等 太郎

組員

가

Ŀ

四年 岩田

Ħ

神田湖山

東海東海東京 山 本 理 東京資本 中 一 大 理 工 山 本 理 理 以 山 本 理 理 以 山 本 理 工 山 本 理

堯 洙

推理

周壽

田婦竹商

當房有次即

僧田喜久雄

度島学二

職任實

一旦 一旦 一旦 一旦

同校

植 村 村

IJJ

月

舘

は多くました。

任 職

實際祭

IJ

---

同署

所 上 上

Ъ.

II

於紀元二十六百年之新春 於謹而奉賀

職 任

H IT

-- 郡

间廳

健

杓

一國の聖地カメ

大澤 票 課 記 三郎

間城區長十

帾

同極

\* 職.員 一

固城郡守

懿

同變

外

職 玄

国城郡 **辩校長會一** 

[11]

李寶

始

\*\*

唐 大 崎 幸 一

文章旗具

1

律

伊澤海

利

人

德 命 元

忠

朴丽 山

昌

淳

權而以

信

洪

10 [1]

金鱼

鉞

基

田島古生の間はな数に動物である。

李<sup>道</sup>

讖 貝 呷

用

理事日本組合 同東

職

て、既然脱散などで小鼻投と中鼻。して難つていゝと思ひますね。 電音 多年の歌観からいひます。探観は決してしないのだから安心

正月禮裝の手入れ

のいろく、工夫して利助に使ふやうになるるとよいと思ひます 株師して嘘と人が、思診裏、玉 などの野菜、メリケン新又は生

南鮮合同電氣性

天安專賣局數所

州

Н

張

所

天安穀物組入

主解手作

明

干鱈のシチュー

服には防虫劑

きます、緑に館と水か入れてやはきます、緑に館と水か入れてやは、五円館を水にひたしてもどし、五

野野

和服をタンスに仕舞ふ時の心得

新制度と

国たぶし

)準備の必要なし

さるべきです、しかし人単位敵の

にしまぶ場合、長者は個いが気息だたみとし、しまひますが、腕句 羽間だけ入れるとनの田なりのかになるやうに田ねてしまひます

重視される聽取り

だナイクの内部の下料でタンク、 数甲自動車をこれまで製造して あたのが、熱にUボートの建造 にかかつてるます、低級二数の

の東西を間はず知られてゐ

中福院秀禄 (大邱)

基

公立學校長團 天 安 郡 內

天

疑いて疑けば

包知機

子で扱うのがある。とう。 に脚を取りが三分の一の現場され、頭上のよい周囲にかけておきます。



力

**克斯斯校組**合管則者

忠南天安郡栗居面天興里

天

安

閸

朴飯元

垭

天

安春

洋

鄶

陰城酒造株式會社

貞助帝廳

李

鍾

遠

皚

凷

陰城煙

耕作

煙台

會

宮

水

歪

のである、米の水分流がが一四% より若乳がいたけで思ひの壁の繋 緑米が担様川米るものである

俞

萬

兼

誱

粟

Ш

利

喜

馬

場成歡砂

位業所

職員一

同所

鮮 丁 で で

牙山那想

忠湖北道國

體

成

歡

農

場

牙山金鱵 長 谷 III 宏南天安郡平居而所牛里

川

鈴正

道高

蕳

温泉

十五十世 五中八 河野 村 頭 島 木 大良 童 英 六 信 信 **熊人**莊雄寶 二雄

だらすぐに炭を掘ひ、汚れをしら ズボンは第日でズボンはさみで一それら、戦地し、脊低を富て上本。

和服からびららど 子供の防寒着

伸縮のよいスエーター

か又はこく気かいプラシで埃を掘 「 要です、悪くとも酸耐盛りのお子」 た、先づ風邪を引かぬ側用心が脱 かいよく本樹的な飽暖が訪れまし

丸等洋品鑑度部別と、 カートが五国五十段から(京城 カートが五国七十段から、女児用ス

め去る一月二日から内地隔省中 婦人たより

住年の名子投ジャッキー・ケーガ ▼クーガン婚約

原

原州郡廳職員 州 郡農會職

同 同

新 皇軍之武運奏久 成

歡郵

干缸 便

虚所

図 載

尹 龍 1251公均

松浦式砂金採取機研究所

木 商 店

陰城而事務所

陰城農業體學校

內關

役

南鮮合同類會 即支唐及 野 天 天 安 支 店 所能合同類會社

原州官公吏一

やまし

河村 商店

10

天 蒙 鑛 業

會

石澤彌太郎

科會 <sup>溫</sup> 理席 陽

開溫

低

134

,花

抋

天安酒造組

朝鮮京南鐵道灣會 A Sent A

,場

**双** 

煮院

成軟鐮業株式會社 黑南天安都成敬丽成數里四四九 、

T

期負長

宮本音造

合非

カ金山鍍業電

邮所

大以現

石塚喜久男 |

八席

木蟾虫

山鍍

※業所

水

是 都 E

留

利

行

丙

日本產金與業株會 財 鮮 出 張 所 洪城第二鑛業所 洪城第二鑛業所

期 **單鶴田櫃** 

六

省

東金貨木 大 村 殿 業所

安眠島 林 業 ∈所

陰 城 警 察

署

陰 陰 城 城 郡

郡 顣

農

會

す程に力むにも及ばない、おりがまに利用が活用、代用されるつてる

が含まれてゐるからこの産塾の力中は深川の戦心静然

藤

井

廣

成

石

邮票

"組

原城四段組合管部者

쨏 長崎益三

风迎逸古 合

宋宋宋干

北河

成歡酒造會社

宮

岩圖

口瀬庚子

朗

朝鮮中央鑛業縣會社 作品數 井上賢太郎 作品數 井上賢太郎

城金融組合

へて吹くとよい、質においし、

来し肥粋が不足するともいふが、

米の転燥と搗精 乾燥すると搗精しやすい 凍らぬ城川江

時局座談會歸省學生の

大野總監、局長會議で訓告

**冉び慘禍を招かぬやう** 

證文を焼く

採取に着手

(學してからまる四年

**新别案**丙



南方用に同じくを納所料に脚 用して能乗石臼の五倍 大規模大量製作により取引設

**外手廻製粉機** 

カメラルンズ、双級関係がより、 対はのは正相物・影響を持つ。 では本中で丁は血の中壁水野 では、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいいは、大野のいは、大野のいいは、大野のいは、大野のいは、大野のいは、大野のいは、大野のいは、大野のいは、大野のいは、大野のいは、大野のいは、大野のいは、大野のいは、大野のいは、大野のいいは、大

前 第 **工** 田 保 久

少則耐從原

(カタログ消経)

株子に成本が出りません。 (は本文化: 日 (は本文) 日 (は本文)

高田船底塗料

木船塗料・水線塗料 高 田 ホールドペイント

郡田尉 取 附 油 鑰 轉

又乜卜電氣熔接棒

殊 100 Ħ

兹 他 特

雇

紅歯

ニッサン白堅練ペイント

ニッサンボイル油

日本油脂株式會社

朝鮮代理店

辰已物產株式會社

本 住 京城村(古大門面 ) ニノー 日本生命ビネ 三〇五號 医西本路 〇九三〇都 二八〇一號 田田八〇四 大七十一部 田田八〇四 大七十一部 田野町 元 山 昭 即 即 リ 原 図 は 本 二 日

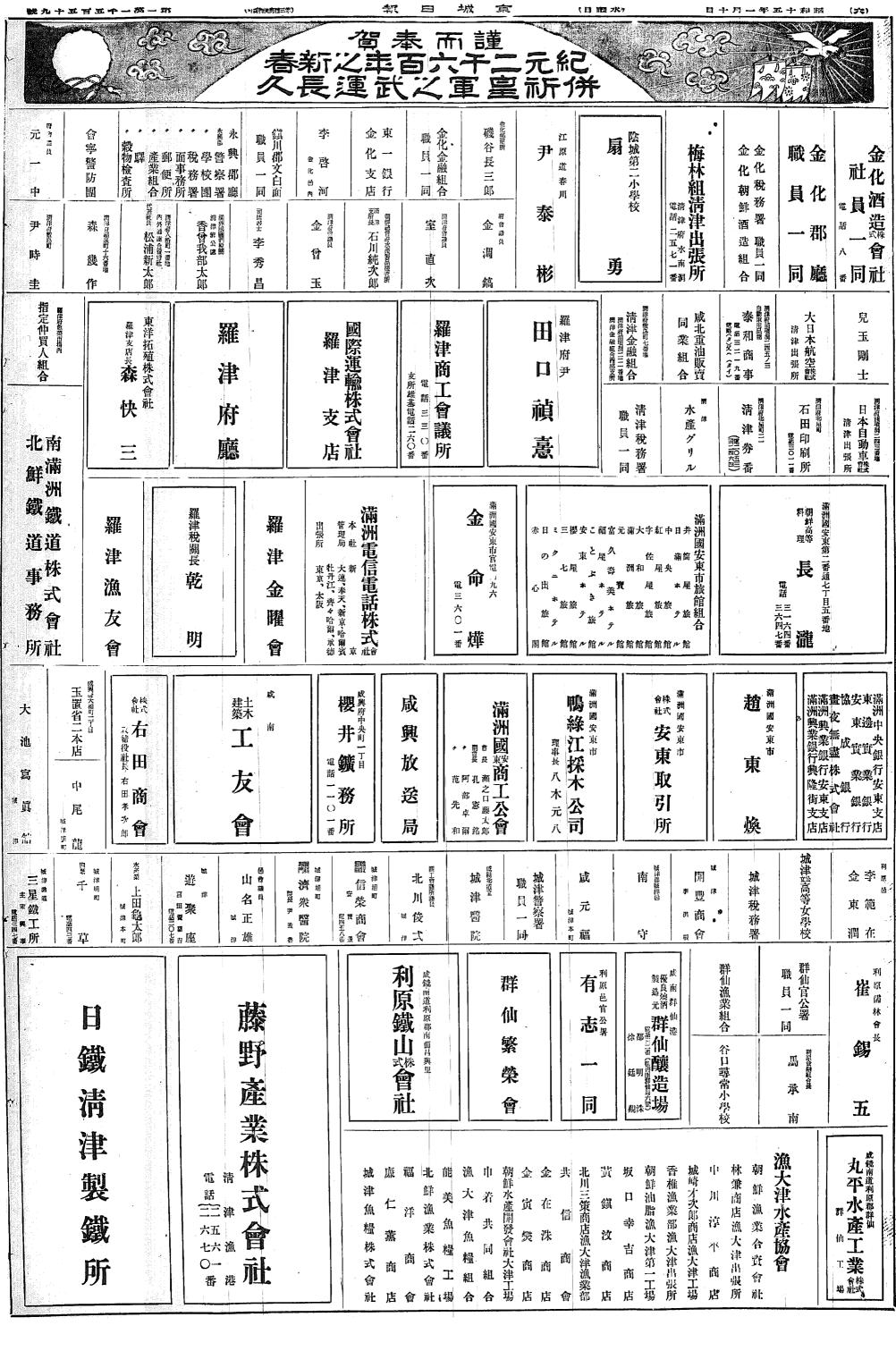
箱件

後の長成丸

適難現場をつぶさに視察

なは八日午楼十一時本社から

官民一致、努力の結晶



新生、儒教、を說く尹さん

『移入』と『速成』で急場凌ぎか

産米計畫・思はぬ伏線

流 症 全鮮を襲

5

現患者二百六十

風雲な

電子学出上二ク 

台

まった 大派人 英南 富浦 健胃 温泉 温温 温温 温泉 温泉 健胃

を記載を記述を記述しています。

城府左官業組

德永小兒科 人风险点 醫學博士德 永 西州門町牛(裁判所集通) 電話(光)1950日

驶

歌歌

71: 1/1 亥欠 壮 禮

迁

日日日日は明の後数

用 民 會 **國籍 美** 

行銀產殖鮮朝

みるからにえの人の 健康を物語ります

洋女子協科醫學校 |歴先入事を許明||東京市本郷區元町の女學校長の唯||詳細は學則請求あれ

徒



大虾医型專門學校

報金貯

95-BARRA

行銀蓄貯鮮朝醬

#-0-005657#

OCIA 類 人則 人則 付

七十月名 三月十四日 三月十四日

放此名言证是农

jed

三月十五日(熊郎志州古八二十二十)(修築中興))。

日本生命集 皮庫淡原 性病科 医学は 変 派 8 9 4

十一日(木)

〇天津直航 常分ノ間欠航ス

副官類 體梶太

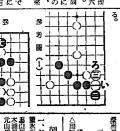
=

漁

神無

林林大會社

吉



花瓣

岡

pu C

會合 社資

東

組

全北沃滯郡米面築洞

营

崎

農

宮

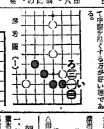
崎

保

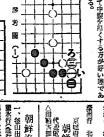
城

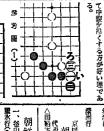
府

大









群# 山海 日城城

辯護士

11田

., 山 府

群山肥料山府本町

張克斯 員

同

群 遊 組 合

川支店

東朝鮮銀行群山金曜中銀行群山支店市銀行群山支店

全北沃溝郡開井面 本 農 場

源 會株 社式 無職 熊 員井

工業化式町北北村 低出出張所

同和海運群館

取常鮮

(辞 ) (音同)

大郎

店離

群鮮 合同電氣

M

朝鮮運送株式會社群山支店 发展 堤 信 Z 圳

式會社

八大島 冹 谷 殖 型 產 農 題 目 場場場會

沃 溝 Ti.

四人の客(九)

(82)

大 (高) 作

不村名人講評

群山

理

事

團

支男及

津

田

葭

京城ゴム合資命社 代表社員

李

財町

秀

池

H

府

全北無盡株4

式會 社

群山青果珠會社

谷關

口

旅

或店長 # **村** 朝鮮殖 庭銀行群山支店

持時間各九時間)

累滑 質 計問

□小腹氏 五時間十九分 一日小腹氏 五時間十九分

角香 6 14

如何に

從 # **LI** 

E

睴

群山府竹田町 菊『

in **I** 

同茂

**\*\*\*\*\*\*\*\*** 

Ŀ

工會議所特別著

1.1 大阪番船散出机

Ш

府廳職員

间

離極

П

店

敬太店

鮮產與經行社

群山

出

張商

村

酒路 吾妻

原

<sup>府新與町</sup>場